

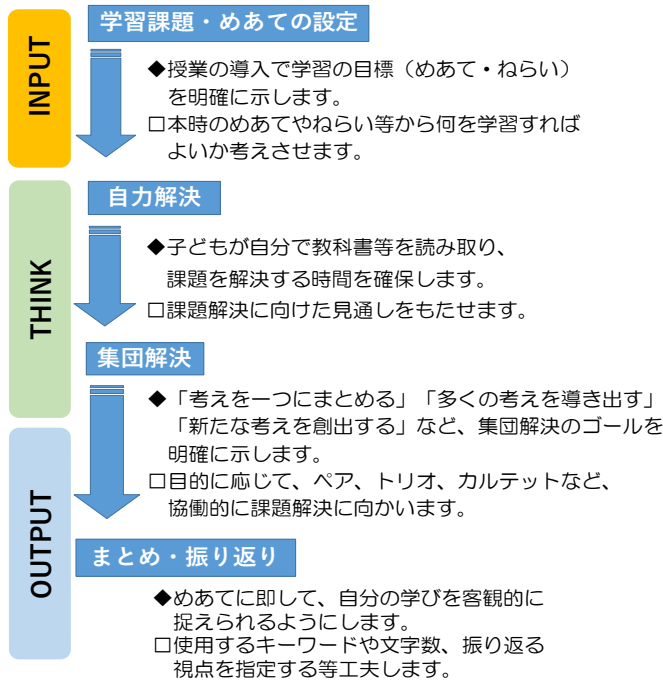
“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつ先生！” 地域が支える教育の板橋
“学び合う、学び続ける人づくり！” 地域を創る教育の板橋

『板橋区授業スタンダード』ってなに？

区立小中学校では、児童・生徒が自ら決定し学ぶ力を付けるために、『板橋区授業スタンダード』を推進し、読み解く力を育成しています。

●板橋区授業スタンダードとは

区立小中学校では、「①学習課題・めあての設定⇒②児童・生徒が自力で問題解決⇒③考えを共有し、集団で問題解決⇒④まとめ・振り返り」という学習の基本的な流れを示した「板橋区授業スタンダード」に基づく授業を全校で実施しています。児童・生徒自身がその学びの過程を自分の力として身に付けることをめざします。さらに、教員がINPUT、THINK、OUTPUTの学びの流れを意識した授業を展開し、読み解く力の育成につなげます。



←黒板と電子黒板、一人一台端末を活用しながら授業をしています！（板橋第八小学校）

●令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」（めあての設定）

「学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」（自力解決・集団解決）

「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていましたか。」（振り返り）

以上の児童・生徒質問紙による質問で、肯定的な回答をした児童・生徒は正答率が高い傾向にあります。

「板橋区授業スタンダード」に沿った授業展開を実施し、児童・生徒がその学びの過程を身に付けることが学力向上に深く結び付いていることが分かります。

●9年間で子どもたちを育成する

区立学校では、小学校・中学校共に「板橋区授業スタンダード」に沿った授業プロセス及び学習ツールとしての一人一台端末の活用をつなげた授業づくりを行っています。こういった毎日の授業の積み重ねが1年生から9年生までの9年間、約9,000時間に及びことで、結果としてそれぞれの資質・能力が子どもたちに身に付いていくと考えています。

【問合せ】指導室 ☎：3579-2643

板橋区の学校健診 ～独自の取組～

学校で行う健診の内容は法律で定められていますが、板橋区では、独自の取組を多く実施しており、小中学生の健康管理のために学校、教育委員会、板橋区医師会が連携しています。「自分のからだの調子」や「成長の仕方」を知するために学校健診を受診しましょう。

健診と内容	独自の取組	対象
心臓検診（心電図検査）	対象学年を増やして実施	小1・中1に加え 小4・中3
運動器検診（脊柱側弯症検診）	精密機器によるモアレ検診を実施	中学1年生全員
生活習慣病予防検診	精密検査で要指導の者には個別または集団指導を実施	学校医が認めた児童生徒
貧血検査（血液検査）	貧血の早期発見を行うため実施	中学1年生全員
呼吸器疾患スクリーニング検診（アンケート調査）	気管支ぜんそく等呼吸器疾患予防のため実施	小1、小4、 中学1年生全員

【問合せ】学務課学校運営保健係 ☎：3579-2616

自転車に乗る時は、ヘルメットを着用しよう！！

平成30年～令和4年の調査では、自転車死亡事故の約7割が頭部に致命傷を受けています。

春休みを迎えるにあたり、自転車に乗る機会が増えてくると思います。自転車に乗る時は正しい交通ルールを守りながら、万が一に備えてヘルメットを着用して頭部を守りましょう。

区では、自転車用ヘルメットを2,000円引きで購入できる助成事業を行っています。

詳細は、板橋区のホームページをご覧ください。



自転車交通安全教育用リーフレット（警視庁HP）



板橋区HP

【問合せ】土木計画・交通安全課交通安全係 ☎：3579-2513



←こちらから学校訪問の様子がご覧になれます。
また、板橋区公式ホームページからもアクセスできます。

学校訪問

検索

※PDFで閲覧の場合、二次元コードや★のついた図をクリックいただくと、該当HPに画面が移ります。

板橋区立高島幼稚園の取組

高島幼稚園では以前から、子どもの興味や個性に寄り添い、人との関わりの中で一人一人の良いところや可能性を生かしながら、よりよい考えをつくっていく過程を大切にしています。

地域行事への参加や近隣の方々との交流、近隣の学校との定期的な交流など、幅広く人と関わることで、園児たちの成長を促していくとともに、保護者負担軽減の取組として、預かり保育の開始や希望制の弁当給食など、ご家庭の事情やニーズに合わせた改革を行っています。

幼児期の遊びは、学びです！

個々の興味・関心を生かした遊びを展開！ 人との関わりの中で学んでいます

霜柱を発見！
「冷たい！」
「シャーベットみたい」



「きのこ回しに挑戦するの！」
「どうやってやるの？」と教え合い！

保護者とのふれあい
手を繋いでいちにいちに
運動します。



「大きな凧を作るの」
「押さえてあげるね！」
協力して作ります！



憧れの年長さんに劇を教
えてもらって、楽しい時
間を過ごします。

小学校で、給食体験。
そーっとそーっと、
配膳も自分でやります！



「モルモットの世話の
仕方を教えてあげる
よ！」
「うん、やってみるね」



近隣小学校との交流
清掃活動が終わったら、
広い校庭で鬼ごっこを
始めます！

●どんどん新しくなる高島幼稚園！

- 令和4年：幼児の受け入れを3歳児からに拡大し、3年保育が開始！
預かり保育「にこにこクラブ」の開始で、7時30分から18時30分まで利用可能に！
- 令和5年：週2回、希望制による弁当給食が開始！ 家庭の事情に合わせて対応できます。
- 令和6年からは2歳児の一時預かり「ぺんぎんぐみ」を開始し、週2回、2時間程度の預かりを予定しています。



高島幼稚園HP

第22回櫻井徳太郎賞 受賞結果

応募総数589編（高校生の部・一般の部を含む）のなかから、各部門において以下の受賞者を決定しました。
受賞作品は区ホームページで公開予定です。

【小・中学生の部】（応募数574編（東京・埼玉・京都））（※敬称略）

●最優秀賞
京都市立御所東小・3年 河内 里香「なぜ京都にはお地藏さんが多いのか」

●優秀賞
東京学芸大学附属世田谷中・1年 中尾 仁南「わらべ歌、伝統工芸品でつながる絆」
毛呂山町立泉野小・4年 岩野 満優「毛呂山町のお地藏さんの現状とこれからの課題」
志村小・6年 坂東 俊祐「受け継がれて来たほころに目を向けて」
志村小・6年 島 千晴「和敬保育園の地藏盆はなぜおこなわれているのだろう？」

●佳作
三園小・6年 馬場 奏汰「三園小学校と地域の歴史」
弥生小・3年 松下 依都「日本とメキシコのお盆のきょう通点とちがい」
緑小・3年 山谷 桜子「夏のすずしい洋服の工夫」
緑小・3年 中村 璃子「えんきりえのき」
緑小・3年 藤波 健「中台さとやま公園でひろったハニワの破片について」



区ホームページ



櫻井徳太郎

【問合せ】生涯学習課文化財係
☎：3579-2636

●より魅力ある情報を発信するために

いたばし教育チャンネルについて、
アンケートにご協力ください。

